

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	インディアナ大学パデュー大学インディアナポリス	氏名	
国名	アメリカ	学籍番号	
留学期間	2019年 8月 ~ 2020年 5月	記入年月日	2020年 7月 23日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野:			
科目名	Cultural Anthropology	科目名	Principles of Event Tourism
授業内容	文化人類学全般について多面的に学ぶ	授業内容	イベントを企画し開催するまでの手順や考慮する点などについて細かく一つずつ学ぶ
授業形式	講義	授業形式	講義
単位数	3	単位数	3
サイズ	40人程度	サイズ	30人弱
難易度 Course No.	比較的簡単	難易度 Course No.	ふつう
宿題の量	二週間に一回要約のエッセイを提出	宿題の量	ふつう
コメント	先生が明るく楽しい雰囲気があった。授業内容は、津田にて文化人類学の授業を専攻したことがあったため難しくはなかった。グループと個人のプレゼンテーションが一回ずつあり、特にグループの準備は周りのネイティブ学生と同じ分量の書類を読み、まとめてパワーポイントを作らなければいけなかったため大変であった。留学生は私を含め2人だけだった。	コメント	観光学を専攻する学生の必修科目であり、自分以外はみな観光学部の生徒だった。エクセルを使ったデータ分析の宿題が多く出た。また授業のほか、最低八時間の学外ボランティア活動が必須であり、私はFFAという農業に関するイベントにて二日間のボランティアに取り組んだ。テストは“自分で状況を判断し、イベント内容を提案する”という内容のもので難しかった。
科目名	Principles of Composition EAP	科目名	Academic English Reading
授業内容	BAAPとMAAP形式の文章の書き方を学ぶ	授業内容	ノートのとり方やリーディングの基本的スキルを学ぶ
授業形式	講義	授業形式	講義
単位数	3	単位数	3
サイズ	10人強	サイズ	10人強
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	やさしい
宿題の量	多い	宿題の量	比較的少ない
コメント	先生がとても厳しい。毎回授業はグループワークが多く、周りも留学生のみなので友達作りやすい。ただ、宿題は多いうえに個人面談や授業外に最低一回は一時間ほどのESLチューターに行かなければならず、多くの時間を割いた。評価が厳しいうえ、この授業を落とすと次のセメスターにあるWritingの授業が取れないため必死だった。	コメント	先生がESLチューターを担当してくれていたこともありとてもフレンドリーで優しかった。クラスメイトもほとんどがCompositionと同じでグループワークなどスムーズに進んだ。学期末にはグループプレゼンテーションがあり準備のため授業外でも何度も集まり繰り返し練習を重ねた。

科目名	EAP Grammar	科目名	Asian-American Culture
授業内容	基本的文法を学ぶ	授業内容	アジア系アメリカ人の歴史や文化を中心に学ぶ。ディスカッションベースの授業
授業形式	講義	授業形式	講義
単位数	1	単位数	3
サイズ	十人弱	サイズ	30人弱
難易度 Course No.	やさしい	難易度 Course No.	やや難しい
宿題の量	ふつう	宿題の量	少なめ
コメント	アプリを使い、コンピューターにて個人的に進めるという感じ。授業内では宿題でやってきた内容の復習と毎回その内容の小テストがあった。基本的な文法事項ばかりだったので取りたくはなかったが、ほかの英語科目とセットでとらなければならなかった。ほかの授業とは異なり、週一度だけで50分だったので楽だった。	コメント	履修している生徒のほとんどがアジア系アメリカ人もしくはアジア人。和気あいあいとした雰囲気。授業内ではテーマに沿って少人数のディスカッションを行い、周りの学生の経験をもとにした話をたくさん聞いて興味深かった。学期末に大量のエッセイの課題が出た。
科目名	Intro to Interpersonal Comm	科目名	Cultural Heritage Tourism
授業内容	コミュニケーション学の導入。幅広くいろいろな側面から、コミュニケーション学について学ぶ。	授業内容	持続可能な観光とは何か、また観光地を分野ごとに分ける際、どのような分け方があるのか、などについて学ぶ。
授業形式	講義	授業形式	講義
単位数	3	単位数	3
サイズ	30人弱	サイズ	20人程度
難易度 Course No.	ふつう	難易度 Course No.	ふつう
宿題の量	やや多め	宿題の量	やや多め
コメント	ほぼ毎回小さなペアワークが課され、はじめは相手を見つけることが大変であった。二週間に一度、学んだチャプターごとのエッセイと小テストが課される。教科書に沿った内容で、予習復習がしやすかったし、内容も興味深く面白かった。個人的にお気に入りの授業の一つ。津田の授業にある、「異文化コミュニケーション」に似ていると感じた。	コメント	週に一度の夜6時から9時近くまである授業だった。おじいちゃん先生で留学生にとっても理解がある先生だった。授業ではグループワークが多く楽しい雰囲気があった。課題は初めの週に自分が選んだ旅行場所について毎週短いエッセイを書くもので、学期末には実際その地へ2泊三日で旅行する際の細かいスケジュール表を作った。プレゼンは全てコロナで中止になった。
科目名	Listening/Speaking Academic Purpses	科目名	Reading, Writing & INQ I EAP
授業内容	プレゼンの仕方について主に学んだ。	授業内容	初めのセメスターのcompositionを合格した後にとれるクラス。さらに長い文章やエッセイの書き方を学んだ。
授業形式	講義	授業形式	講義
単位数	3	単位数	3
サイズ	10人程度	サイズ	20人程度
難易度 Course No.	やさしい～ふつう	難易度 Course No.	やや難しい
宿題の量	多い	宿題の量	多い
コメント	留学生のみの授業。毎回くじでグループを決めテーマに沿ってグループワークをする。二週間に1度全員の前でプレゼンをする。宿題は量は多いが、一つ一つはそんなに難しくはないため、授業後クラスメイトと一緒に終わらせられた。	コメント	Compositionに比べて細かい指示が少ない分、宿題の文章を書く際大変だった。宿題は多いが一つ一つの配点はとても低く、ライティングプロジェクトごとの最終提出物に比重が置かれている。周りの生徒もみな留学生ではあるが他の英語の授業と比べ、英語レベルが高かった。

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>特にネイティブに混ざって受ける授業は初めは何を言っているのかうまく聞き取れず、グループワークやディスカッション時に疎外感を感じ悔しい思いもした。しかし授業前にあらかじめ自分の言いたいことをまとめ、発言の練習を友達と繰り返すことで少しずつ改善できた。またエッセイを書いた際には友達やルームメイトに添削してもらったり、大学のライティングセンターに何度も通った。それでも自分の語学力に自信を持たず、ディスカッションで困っていた際には、自分が交換留学生で英語をまだ練習中であるとあらかじめチームのメンバーに伝えたり、授業初めの自己紹介にて英語を勉強中であると強調して述べた。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>JCCという日本語カルチャークラブに所属し、週に一度の交流会に参加することで人脈を広げた。授業後は友達とドライブに出かけたり、図書館で一緒に勉強したり、ルームメイトと映画や料理をして過ごすなど充実した時間を過ごした。また一か月に2.3回はホームパーティに参加し友人たちと楽しい時間を過ごした。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>I-Houseという留学生が多く住むアパートに住んだ。キャンパスセンターからは徒歩10-15分ほど。一番近いスーパーまでも歩いて30分弱ほどかかった。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>4人部屋で2つバスルームがあり、キッチンとリビングは4人で共用するが個人部屋もあったためとても快適であった。比較的新しく、設備も整っていた。リビングにはソファが2つ、ダイニングテーブルと4つ椅子があり、洗濯機と乾燥機がひとつずつあった。</p> <p>部屋について</p> <p>4人部屋 広さ 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて</p> <p>初めのセメスターはアメリカ人二人とドイツ人一人と私だったが、次のセメスターからはドイツ人のルームメイトが交換留学を終え、帰ってしまったため3人で過ごした。全員とても親切で、つたない英語を話す私をととても気遣ってくれた。週末は4人で車で出かけたり、スーパーに行ったり、また夜はよくムービーナイトをした。ほかの部屋の様子と比べても、とても良好な関係が築けた。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>入居翌日、同じ寮に住む日本人の正規生がウォルマートへ連れて行ってくれたため、そこで必要最低限のものはすべてそろえた。その後もルームメイトや車を持つ友達と定期的買い出しをしたため特に困らなかった。</p> <p>生活の感想</p> <p>ルームメイトではないが、下の階に住むアメリカ人の女の子ととても仲良くなり、11、12月ごろから帰国までその子とほぼ毎日ずっと一緒に過ごした。夜もどちらかの部屋で寝泊まりをすることが多く、深い信頼関係を築けた。I House自体、とても和気あいあいとした雰囲気があり、様々な寮イベントを通して多国籍の友達ができとても楽しかった。住民はインドとドバイ人が多い印象を受けたが、はじめのセメスターはヨーロッパからの留学生もたくさんいた。また数人アメリカ人も住んでいて、文化交流が日常的に行われていた。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>ミールプランをつけていなかったの自炊していた。お昼はキャンパス内のフードコートをよく利用していた。</p>

6 医療保険についてお書きください

渡航前に加入した保険
学校推薦の保険に入った。

留学先大学にあった医療保険制度
任意で保険を勧められるが、二重になるので私は入らなかった。

留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)
オリエンテーションにて採決された。それをしないと授業が履修できない制度になっていた。

7 費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)

		(現地通貨)	
渡航旅費			約15万 円
帰国旅費			約10万 円
引越し(往復で)			約1万 円
保険			約15万 円
語学研修費			なし 円
留学先学費			約300万 円
本学学費			20万? × 2 円
教材費			約4万円 円
住居費			約60万 円
食費			約20万 円
その他(旅行費)			約5万 × 2 円
(監禁中のホ テル代)			約10万 円
()			円
合計			約455万 円

換算率 (= 円)

受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください

JASSO奨学金

8 留学前の準備について教えてください

日本から持参すべきもの
化粧品や化粧水、生理用品。常備薬。洗濯ネット。暖かい下着(私はユニクロの極暖がなければあの冬は耐えられなかったと思う) 日本食調味料(日本食ストアもあるが割高)。炊飯器は留学前使っていたものを送ってもらった、あるととても便利。

留学前にしておけばよかったこと
特になし。不足していたものなんでも現地で調達できた。

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>授業内のディスカッション参加にはパッションが必須。英語力を気にしすぎて黙ってはいない人として扱われてしまうのでいつも緊張しながらも、なるべく発言のできる際には積極的になろうと努力した。学習面での不安点や不明点は一人で抱え込まないことが大切。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>自分にも相手にも正直になったことから、“自分に自信を持つこと、自分のありのままをさらけ出すこと”を自然にできるようになった。また自分と向き合う時間が多く、積極性や主体性をもって何事にもチャレンジしてみようと思うようになった。何より、つらいと思ったとき親身になって話を聞いてくれる友人や先生方に出会えたことが今後においても大きな収穫だと思う。寮で出会ったアメリカ人の親友とは、帰国後も最低三日に一回はテレビ電話えおするなど深い絆を感じている。学習面では、英語はどのスキルも伸びたと実感している。特にリスニングに関しては、はじめのセメスターと比べ次のセメスターではその伸びを実感でき、授業内容を辞書を全く使わず理解できるようになった。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>9月から三年生として帰学する予定。今はインターンに申し込むなど少しずつ就活を始めている。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学によって得られるものは、語学力以外にも本当に数えきれないほどあります。留学したいと考えているのならばその気持ちを大切に、ほかの心配事や不安要素でその気持ちに蓋をせず、少し勇気を出してみてください。もちろん現地では悔しいことも大変なこともつらいことも山のようにありますが、それ以上に学べる事、楽しいこと、幸せなことであふれかえっています。友達と授業後に散歩したり、ドライブしたり、とことん話したり、寮でくつろいだり、夜中に急に料理をしたり、何気ない日常がとてもかけがえのないものになってくると思います。私にとっては何よりも、心から尊敬できる、信頼できる友人たちに出会えたことが一番の収穫です。自分と向き合い、チャレンジし続けるいい機会にきつとなるはず。迷っているのならばぜひ挑戦することをお勧めします。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p>



誕生パーティーをルームメイトが開いてくれた



インターナショナルイベントにて



ドライブでブルーミントンを訪れた際



放課後のドライブ



放課後の学校での様子



←自肅期間中のホームステイ



↑寮での様子